

(様式2)

個別事業等実績評価シート

平成27年12月時点

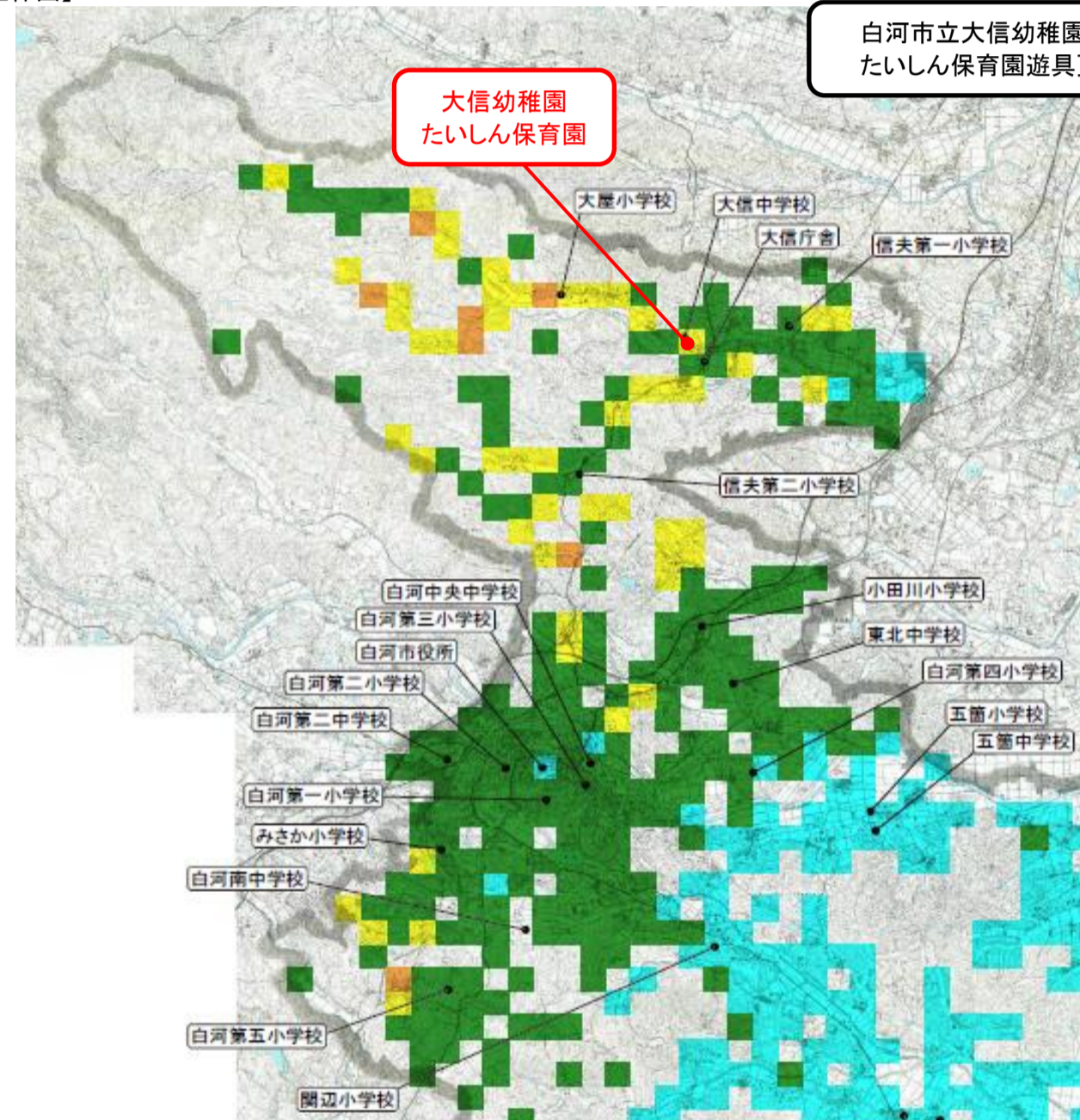
県名	福島県	交付期間	平成26年度	交付対象事業費	23,814千円
市町村名	白河市	実績評価実施時期	平成27年度	評価対象事業	A-1-4

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注1, 2)

- 遊具を更新することにより外遊びに対する不安を払拭し、地域の子どもの外遊び・運動機会の増加を図る。
- サーキット運動などを実施しながら利用促進を図るとともに土曜日に園庭を開放するなどして利用者数の増を目指す。

【区域全体図】



白河市立大信幼稚園及び
たいしん保育園遊具更新事業

大信幼稚園
たいしん保育園

【事業詳細】

(1) 事業概要

隣接する大信幼稚園及びたいしん保育園の遊具を更新し、子どもたちが新しい遊具で思い切り遊べる環境をつくることで、体力向上に繋げるとともに、地域の子どもに開放し運動機会の増加に繋げる。

更新した遊具

- ・大信幼稚園：鉄棒1基、雲梯1基、登り棒1基、ローラーすべり台1基、リングトンネル1基、アスレチック2基、動物遊具2基、複合遊具1基、すべり台2基、車型遊具2基
- ・たいしん保育園：砂場の枠1箇所、ブランコ1基、プレイハウス1基

(2) 事業の実施状況

〔工期〕平成26年4月3日～平成26年8月29日(供用開始日:平成26年9月1日)

〔運営状況〕開放日:平日 14:00～18:00

土曜日 7:30～18:00(※日曜日は施設施設のため利用不可)

利用料金:無料

〔利用状況〕188人(H25.12.12～12.18)⇒730人(H27.12.10～12.16)【+542人】

(3) 人口流出及びそれにより生じている地域の振興における支障との関係の評価年度時点での情報を記載

〔避難者数〕

全国避難者システム等を基に市が独自にとりまとめた市外への避難者数は、平成25年4月5日時点では169世帯467人であったが、平成27年11月18日現在は156世帯433人と減少している。

〔肥満傾向〕

肥満度を測る指数が平成26年度から変更となったため、平成26年度と平成27年度での比較となるが、市内小学校における肥満度が20%以上の児童の割合は11.43%から10.72%に改善している。

〔体力テスト〕

市内小学校において平成25年度に実施した体力テストでは、総合評価がAまたはBの児童の割合は36.9%であったが、平成27年度と同テストの結果は40.1%となっている。

(4) その他

大信幼稚園

たいしん保育園



H27.12.10(園庭で遊ぶ園児)

事業計画推進による効果・変化

○遊具が更新されたことで、放射線量の数値を気にすることなく、元気に思い切り外で遊ぶ姿が見られるようになった。先生方も意識的に外遊びの機会を増やしている。

①12月第2週の園庭利用者数:188人(H25)⇒730人(H27)【平成25年度比: +542人】 ②園児数(2園合計):161人(H25)⇒150人(H27) ③1人当たりの1日平均利用回数:0.19回(H25)⇒0.81回(H27)

○遊具の更新など、子どもたちが安心して運動できる機会の確保に努めたことで、市内の就学前児童及び小学生における肥満傾向児童の割合が減少している。(幼稚園・保育園:2.09%→1.53%、小学生:11.43%→10.72%)

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)

○園生活においては、運動機会を増やし体力向上につなげるため、遊具遊びに課題を与え、その達成度に基づきシールを貼るなどして、子どものやる気を引き出しながら取り組みたい。

(注1)様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2)様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。